

第3回教養講座 佐藤昭嗣先生



佐藤 昭嗣先生

福山の町の母なる川“芦田川”、その穏やかな川面からは想像もできないような暴れ川の濁流に一瞬のうちに埋ってしまったタイムカプセルのような町、草戸千軒。その遺跡から発掘された、中世の時代に生きた私たちの祖先の生活を垣間見ることのできる生活用品、とりわけ生活の一端を書き留めた木簡などについて熱く語ってくださったのは、福山市文化財審議会会長の佐藤昭嗣先生です。

また福山湾岸に栄えたこの町は、遠く東南アジアの国々とも交易をしていた国際都市であったことも、お話を頂き、福山の新たな魅力を感じました。

水野勝成入封以前の中心地神辺に築かれた城とその城下町についても、次回の連続講座につながる貴重なお話を頂きました。

—お寄せいただいた感想から—



○草戸千軒での生活状況が鮮明に想像できて、福山でのロマンを感じる事ができました。以前に行きましたが、再度歴史博物館へ行ってみようと思いましたが、尾道に比べて福山は歴史のない町と思っていましたが、今回の講座で、歴史の深さ、ロマンあふれる町と再認識させていただきました。

(70 歳代男性)

○福山の瀬戸内の交通、流通の中心地であったことを改めて知ることができました。水野氏が福山を選んだことがよくわかりました。草戸千軒の歴史的意味をもっと福山の人に知らせていかななくてはならないと思います。ありがとうございました。

(60 歳代男性)

○草戸千軒は、木簡がたくさん残っていたことを初めて知ったので、感動しました。庶民の生活よくわかる資料が残っているのがすごいと思いました。1300年代からベトナムなど東南アジアとも交流があったんですね。

(60 歳代男性)

○草戸千軒の話は本当に感動しました。改めて福山に素晴らしい遺跡があることを誇りに思いました。
(40歳代男性)

○神辺城の立地、構造、背景がよく分かった。福山城を作る理由が幕府側にあったことがわかりました。
(70歳代男性)



○草戸千軒の庶民の生活が、木簡の内容の説明で目に浮かぶようでした。また当時、京都、向島、市村の間で為替の流通があったと聞き、びっくりです。千軒町の発掘に携わって見たかった。特に子どもの頃、芦田川で泳いでいた頃、神島橋の少し下流で素焼きの皿を何枚も拾って、夏休みの作品として提出し、金賞をもらったことを思い出しました。
(70歳代男性)

○お城をテーマにしたご講演が続きましたが、今回は海・川をもとにして、町の発生と発展を説明いただいた。謎解きを伺うようで、大変興味深かった。郷土の歴史を具体的なイメージにできたように思います。ありがとうございました。
(60歳代男性)

○古文書、遺跡から見える話は興味深く聞けました。津、草の地名は、小さい積み出し港、鞆は集積港、今も昔も物流の流れの発想は同じだなと考えさせられました。
(70歳代男性)



○どのような土地に福山城が築かれたのか、面白いお話で学べて、大変楽しかったです。その当時の情景が浮かぶような細かい詳しい内容のお話を分かりやすくご説明いただけて、とてもありがたかったです。

(60歳代男性)

次回はいよいよ最終回を迎えます。

私たちの故郷“ふくやま”の基礎は、水野時代に築られました。私たちの町の原点をたどるお話を期待しましょう！！！！